

本時のねらい

- ・身近なことを表す語句を使って、積極的に言葉遊びに取り組むことができる。
- ・言葉遊びを通して、言葉の世界を広げ、言葉の豊かさに気づく。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・児童が作成した言葉遊びの問題をカメラ機能で全員分撮影し、撮影した問題をその場で教員（T2）がまとめ、児童に一斉配付することで、1 時間の中で共有し、深めるように展開することができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・SKY MENU Class 発表ノート ・スクリーン

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習内容を確認する。 「自分で問題を作って、友だちに出してみよう」 ○問題の作り方のルール確認をする。 ・横読み、縦読み、斜め読み、重なり読み ・1文字～3文字（4文字）までの言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンにワークシートを提示し、全体でルールを確認する。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を作る。 ・ルールに注意しながら、9マスの問題作りをする。<u>紙面上</u> ・9マスができれば、16マスにもチャレンジする。 ○問題作りの感想を発表する。 ○友だちの問題にチャレンジする。 ・見つけた言葉を○で囲む。<u>タブレット上</u> ・出題者が問題の解説をする。 ・知らない言葉があれば、意味の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全児童の作成した問題を撮影し、発表ノートにまとめる。（T2） ・まとめた全員分の問題を一斉配付し、児童一人ひとりがタブレット上で、クラスみんなが今作った問題にチャレンジする。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習の感想を発表する。 ・言葉遊びを通して、言葉の世界を広げる。 ・平仮名の復習と同時に、今後の片仮名や漢字の学習への意欲へとつなげる。 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



児童が作成した問題の撮影後、教員が発表ノートにまとめ、児童に配付している場面



友だちの作った問題にチャレンジしている場面



問題を作った児童がスクリーンを活用して解説している場面

児童生徒の反応や変容

- ・児童が“今”作った問題をタブレットを活用することですぐさま「共有」することが可能になり、友だちに自分の問題を解いてもらえるドキドキ感や、友だちはどんな問題をつかったのかなと興味を持って解くワクワク感などをもちながら、意欲的に学ぶ姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・問題作りの際に、紙面上での問題作成ではなく、タブレット上での作成も考えたが、1年生という発達段階を考慮し「丁寧に文字を書くこと」を重視したいことから、紙面上での問題作成を行った。1人1台端末により、従来の学習法に加えて、ICT機器での学習法という選択肢が増えたことは、学習の幅を広げることにつながると思うが、どの場面でICT機器を活用することが効果的なのかについては、今後も考えていく必要がある。
- ・これまでは作った問題を一度回収し印刷した上で配付するという時間のかかる方法をとっていたが、タブレットを活用することで「問題作成→全員で解く」という活動が、1時間の中で完結できた点が良かった。